

- 令和5年11月13日、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【石川県部会】」を開催し、県内の労働力需給状況の説明や現場見学会、出前講座等の実施報告を行い、それらを踏まえた今後の活動方針等に関して意見交換を行いました。
- 実施報告では、ICT建設機械を活用した現場見学会や親子見学会、児童向け教室等、幅広い取り組みが数多く紹介されました。
- また、石川労働局と石川県建設業協会との間での協定締結によるセミナー、ガイダンスの開催など、官学民が連携した取り組みも多く実施されていました。

## 開催概要

- 日 時 令和5年11月13日（月）10:30～12:00
- 開催場所 金沢河川国道事務所 会議室
- 出席機関 [行 政] 金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部、石川県教育委員会  
[建設産業] 日建連北陸支部、石川県建設業協会、道建協北陸支部、石川県測量設計業協会、石川県地質調査業協会、日本造園建設業協会石川県支部  
[教育機関] 金沢大学、金沢工業大学、県立小松工高、県立羽咋工高、県立翠星高校

## 意見交換での発言要旨

- 有効求人倍率や離職率など、県内の建設業の就業状況は依然として厳しい状況。
- ICT施工現場見学会やけんせつフェアの参加により、建設業のイメージが一新されていることから、このような取組を継続すべき。
- 普通科高校出身者の就業が多いことと、離職率が高いことに関連性があるとすると入社後の教育方針を再検討すべきかもしれない。

